

参議院選挙で審判を！「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2013年7月4日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

今日から国政選挙

くらしや社会保障の改善へ

庶民増税と社会保障大改悪の内容、その推進勢力を知らせましょう！



いよいよ、今日から参議院選挙が公示されました。選挙後には、庶民増税と社会保障の大改悪が準備されています。庶民の暮らしはますます大変になっています。悪政をストップさせ、私たちの要求を実現する上で、参議院選挙はとても大切です。この間の署名行動などでも明らかなように、国民は諦めていません。しかし、投票することや、投票先を迷っている方は少なくありません。今後の大改悪の内容やその推進勢力も知らせ、要求を掲げて頑張りましょう。

反貧困ネット北海道が、各政党へ貧困問題・対策で公開質問

各政党の回答は、反貧困ネット北海道のホームページに掲載しています。

(<http://www.015.upp.so-net.ne.jp/hanhinkondo/kijishiry.html>) 今回は社会保障財源について紹介します。

「社会保障の財源を確保するために、所得税の最高税率を引き上げたり、上場株式等の配当等の税率を引き下げたりするよりも、消費税を引き上げる方がよい」という意見に賛成か、反対か〔賛成／反対／保留〕 回答順

共産党	民主党	維新の会	大地	社民党	公明党	みんな	自民党
反対	保留	保留	反対	反対	保留	反対	賛成

*保留の民主党、維新の会は「どちらか一方とはならない」公明党は「当面、両方とも引き上げが必要」

介護制度

改悪やめさせ、改善させよう!

参議院選挙の争点に

6. 30市民シンポジウム 277人が参加

服部万里子氏が講演

6月30日(日)、介護に笑顔を！道連絡会が、市民シンポジウム「介護保険の『今』と『これから』を考える」を行い277人が参加しました。服部万里子氏(前・立教大学教授)が講演し、介護をしている家族や訪問看護、ヘルパーの代表が報告しました。集会後はパレードしました。



服部氏は、冒頭「来春、消費税増税に合わせて法改定を検討されているが、介護制度の規制や切り下げが予想される。これに対してどうするかが私

に生活できると強調しました。その上で、ヘルパーは、単に調理や掃除をしているのではなく、生活全体を見て転倒しそうだから滑らないようにする、脱水防止のために声をかけて水を置くなど体調管理に気をつけ、服薬や飲み込みの状態をみてケアマネに連絡するなど、専門的な視点で支えていると、その役割を強調しました。

東京では、すでに軽度要介護者の介護給付継続を求める会ができ署名を開始していると紹介しました。

最後に、「高齢者は低所得者が多く、必要な制度を利用できないでいる」ことも強調し、「来年の介護保険法の改定に向けて、現場の声、当事者の声を反映させましょう」と呼びかけました。

たちに問われている」と指摘しました。

国は、地域包括ケアをすすめ、特養ではなく、「サービス付き高齢者住宅」(安否確認と生活機能付きなどが条件)を増やす方針で、介護給付費を抑制するため、重度中心型にし、要支援を保険給付からはずしボランティアなどで対応させることなど、制度改悪を考えていると、政府の給付費削減試算(右表)を紹介しました。

「要支援」の方は独居が多く、「立って調理できない」「買い物に出かけられない」「風呂やトイレを掃除できない」など生活上の困難があるが、ここへの支援があれ

- ◇1割→2割負担 (在宅のみ 1600 億円、全部 2000 億円)
- ◇支給限度額引下 (1割減 360 億円、2割減 1080 億円)
- ◇介護給付費が全国平均を上回る地域の国庫負担廃止 (680 億円)
- ◇特養の低所得者への補足給付に資産導入 (「貯蓄」 840 億円、「住宅・土地」 420 億円)